

## 第50回全国高等学校総合文化祭展示3部門作品の保管、輸送及び展示等業務委託仕様書

### 1 業務概要

#### (1) 業務名

第50回全国高等学校総合文化祭（あきた総文2026）展示3部門作品の保管、輸送及び展示等業務委託

#### (2) 目的

第50回全国高等学校総合文化祭（以下「大会」という。）の開催にあたり、各都道府県から送付される美術・工芸部門、書道部門及び写真部門の作品展示に付帯する業務を、計画的かつ的確に行うため。

#### (3) 委託期間

令和8年4月1日から令和8年8月31日までとする。

### 2 一般的事項

#### (1) 業務実施条件

ア 本業務は、美術・工芸部門、書道部門及び写真部門における展示作品の取扱いに係るものであり、本仕様書に明記されていない事項であっても、目的達成に必要な細部の事項については、秋田県（以下「県」という。）と受託者とが協議の上、実施するものとする。

作品の取扱いについては、美術品取扱いの経験豊富な者が従事することとし、作業にあたっては、美術品取扱いの研修等を受講し、その専門的知識を有し、作品の取扱いに習熟している美術品取扱い専門の正規雇用職員の指導のもと行わなければならない。ただし、やむを得ず本件に非正規雇用職員が従事する場合は、美術品取扱いの専門研修を自社内で受講した実績があり、かつ、美術品取扱い業務に習熟している者に限るものとする。また、美術品梱包輸送技能取得士（公益財団法人日本博物館協会）2級以上の資格を有するものを含むこと。

イ 保管期間中、午前8時30分から午後5時15分の間に県から緊急の連絡を受けた場合は、速やかに受託者管理保管場所に到着し対応すること。

ウ 本仕様書は、業務の大要を示すものであり、具体的な事項については、県と受託者とが協議の上、円滑に業務を遂行するものとする。

エ 本業務の実施にあたっては、関係法令の規定等を遵守すること。また、法令等の規定による官公署の免許、許可、認可を受けている必要がある場合には、当該免許、許可、認可を受けた上で実施すること。

オ 本業務の実施にあたっては、県とともに計画、準備、運営等の検討及び協議を十分に行之進めるものとする。

カ 本業務の基本的な実施については、県の指示及び承認を受けるものとする。

キ 本業務に必要な資材（展示用品及び段ボール類）、情報の収集及び調査等は、本業務に含まれるものとする。

ク 契約期間中のやむを得ない業務日程等の変更に対しては、対応するものとする。

#### (2) 提出書類

ア 本業務を統括的に把握し、県の意思に対処できるよう、受託者は契約締結後、速やかに以下の書類（様式は全て任意とする。）を提出し、県の承認を受けるものとする。

（ア）業務作業工程表

（イ）運搬車両及び人員配置計画書

（ウ）保管場所仕様書

（エ）業務実施責任管理者、連絡実務担当者及び各業務担当者一覧表

（オ）その他、県が必要に応じて指定する書類

イ 2（2）アに定める書類の記載内容に変更が生じた場合には、速やかに県に文書で報告し、承認を受けるものとする。

(3) 打合せ及び議事録

県又は関係機関等と打合せを行った場合は、速やかに議事録を作成し、県に文書により報告すること。

3 業務委託の範囲

受託者には、下記の業務を委託する。

(1) 作品の取扱作業全般

- ア 作品受付、照合、保護、保管及び写真撮影補助業務等
- イ 関係機関等との事前連絡、調整及び保管場所（必要備品等を含む）の手配等
- ウ 作品返送業務等

(2) 作品の搬入、搬出作業全般

- ア 作品の搬入、搬出、養生、廃材の廃棄等
- イ 運搬手段及び作業人員の計画、確保等

(3) 展示業務

作品の展示、展示指導又は展示補助等

4 取扱作品予定数

各部門の出品予定数及び規格等は下表のとおり。

※ 秋田県からの出品予定数も含む。

部門名	種 別	作品規格サイズ	予定数
美術・工芸	絵画（平面） 版画（平面） デザイン（平面） 工芸・彫刻（平面）	30号～50号（116.8cm×116.8cm）以内「仮額」 50号（116.8cm×116.8cm）以内「仮額」 B2～B1 パネル仕立て 「仮額」の作品もあり 重量30kg以内 縦200cm×横100cm以内 重量30kg以内	300
	彫刻（立体） デザイン（立体） 工芸（立体）	床面90cm×90cm×高さ180cm以内 重量50kg以内	100
	映像（スクリーン・空間）	DVDメディア ※空間展示は立体作品の規格に準ずる	未定
書 道		① 2尺×6尺（62cm×182cm以内）縦のみ ② 全紙（91cm×171cm以内）縦横可 ③ 半切（55cm×171cm以内）縦横可 篆刻・刻字は半切以内 ⑤ その他（縦作品は62cm×182cm以内、横作品は91cm×171cm以内） ※ 額装出品とし、アクリルを使用する。	300
写 真		全紙パネル 36cm×51cm～55cm×66cm	308
合 計			1,008

※ 予定数は、令和8年5月11日（月）以降に確定のため、追って連絡する。

※ 上記作品の他、協賛展示の作品も取扱うこととする。

5 具体的な業務委託内容

(1) 受付等業務

- ア 受付・照合等業務

- (ア) 受託者は受託者の管理する保管場所において、各都道府県から送付される美術・工芸作品、書道作品及び写真作品の受付を行うこと。
- (イ) 受託者は美術・工芸部門に長机10台・椅子7脚、書道部門に長机8台・椅子7脚、写真部門に長机8台・椅子7脚を用意すること。
- (ウ) 受託者は作業場所の空調設備等により温度管理を徹底し、適切な暑さ対策を行うこと。
- (エ) 受付後、受託者は県（美術・工芸5名程度、書道5名程度、写真5名程度）立ち会いのもと、作品の開梱作業を行うこと。
- (オ) 開梱後、県は、部門毎の作品リストと梱包材に貼付してある「出品票」の内容、及び「出品票」に記載してある作品写真と受付作品との照合を行う。受託者は、県と共に照合作業に立ち会い、情報を共有すること。返却時の梱包作業が円滑に行えるよう、必要に応じ受付時の個口や作品の梱包状態をデジタルカメラ等で撮影する等、配慮すること。
- (カ) 照合後、作品は部門毎、都道府県毎に保管すること。その際、県が必要に応じて行う作品及び梱包材へのラベルシート（県が作成。）貼付作業を補助すること。
- （「（2）保管業務」を参照すること。）
- (キ) 各都道府県への作品返送にかかる送料を見積ること。またその見積り金額を返送前に各都道府県の送付元に連絡すること。（「（8）返送業務」を参照すること。）

#### イ 報告業務

- (ア) 受付期間中、作品の受付状況・照合結果を受付日毎にメール等により県に報告すること。
- (イ) 作品到着時に外装に損傷等を確認したときは、その状態を写真撮影し、県に連絡を行った上で、部門担当者と共に開梱を行うこと。
- (ウ) 作品の裏面に「出品票」の貼付のないものについては、上記（ア）の報告と併せて県に報告すること。
- (エ) 開梱時に損傷等を確認し発見したときは、上記（ア）の報告と併せて県に報告すること。

#### ウ 受付期間

令和8年5月25日（月）から令和8年5月30日（土）までとし、書道部門及び写真部門については美術・工芸部門に対して翌日の作業とする。

なお、受付については下表のとおりとし、全期間において午前9時から午後5時までとする。

受 付 日	搬 入 地 域
美術・工芸 5月25日（月） 書道、写真 5月26日（火）	<u>北海道・東北ブロック</u> 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
美術・工芸 5月26日（火） 書道、写真 5月27日（水）	<u>関東ブロック</u> 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
美術・工芸 5月27日（水） 書道、写真 5月28日（木）	<u>中部ブロック</u> 新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
美術・工芸 5月28日（木） 書道、写真 5月29日（金）	<u>近畿・中国ブロック</u> 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口
美術・工芸 5月29日（金） 書道、写真 5月30日（土）	<u>四国・九州ブロック</u> 徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

※保管場所が複数拠点になる場合を考慮し、日程を設定。

#### エ 県の担当者による立ち会い

- (ア) 下記の日程で県が立ち会い、開梱、作品照合作業等を行うため、保管場所を解錠及び施錠すること。開梱作業は、受託者が行うものとする。

部 門 名	日 時
美術・工芸	「ウ 受付期間」の午前9時～午後1時（予定）に随時照合を行う。 なお、作品受付の状況により照合作業時間を前倒しで行う場合あり。
書 道	
写 真	

（イ）作品照合後、美術・工芸部門及び書道部門については、作品集データに不備があった分のみ写真撮影を行う。写真部門については、作品集作成のための写真撮影を行う。撮影日の詳細については、「（３）作品写真撮影補助業務（書道・写真部門を除く。）」及び「（４）作品複写審査補助業務（写真部門のみ）」を参照のこと。

#### オ 規格外作品返送

照合作業において、出品規格外作品を確認した場合は、指定する宛先に返送することがある。

なお、送料は返送先の負担となるため、本委託業務の経費として積算しないこと。

### （２）保管業務

#### ア 業務内容

（ア）受託者の管理する保管場所に、下記イで定められた期間、作品を保管するものとする。

（イ）保管期間中については保管状況等を毎日把握し、異常を認めた場合は直ちに県へ報告するものとする。

（ウ）保管期間中に作品が破損する恐れが生じたときは、直ちに県に連絡し、県と協議の上、必要な対策をとるものとする。

#### イ 保管期間

作品の受付時から大会終了後に各都道府県へ作品返送業務を完了するまでの期間を保管期間とする。

#### ウ 保管場所

（ア）保管場所の所在地は、各部門の開催地周辺とし、書道部門及び写真部門においては事務局から車で1時間以内、美術・工芸部門においては事務局から車で2時間以内に行くことができる地域であること。輸送の合理的観点から保管場所が2拠点となっても構わないが、書道部門及び写真部門は保管場所を同一とする。

（イ）セキュリティシステムが完備されていること。県又は県が認めた者は、受託者の立会いのもと保管場所に立ち入ることができるものとする。この場合、県は事前に受託者へ立ち入る日時及び立ち入る者の所属、氏名等を通告するものとする。

（ウ）書道作品及び写真作品は同一の場所に保管するものとし、美術・工芸作品においても点検作業等が可能な広さを確保すること。なお、広さは概ね330平方メートルを満たすもの（撮影スペースを保管場所以外に設ける場合は概ね300平方メートル）とし、2拠点となる場合は、それぞれの保管場所での業務に支障をきたさない広さを有すること。

（エ）保管場所については、原則、受託者が美術品を取り扱う際に使用できる（清掃がされていることや日光の影響を受けない、照度に問題がない等）倉庫を確保するものとする。なお、確保が難しい場合には、相応の対策を講じること。

（オ）保管場所については、著しい湿度・温度変化を避けることができる環境の整った場所とすること。



（カ）保管場所、又は隣接地に駐車場（美術・工芸部門については乗用車5台程度、書道部門及び写真部門については併せて乗用車10台程度）及びトイレが完備されていること。

（キ）保管場所の内部又は隣接した施設に、下記（３）の作品写真撮影補助業務が安易にできる場所を確保すること。また、撮影場所は概ね30平方メートル程度とし、撮影に適した明るさが確保でき、コンセント等の電源が利用できる場所とする。なお、全ての使用電気料金については、契約金額に含むものとする。

#### エ 保管方法等

各部門の作品の保管方法等については、以下のとおり。

なお、受託者は、作品の保管にあたり、かご台車等を用意し、作品を都道府県毎に小分けするなど作品の管理及び移動が容易にできるようにすること。

部 門 名	保 管 方 法
美術・工芸	各都道府県から送られてきた梱包材をそのまま使用すること。 ただし、梱包材が不十分あるいは破損などにより作品が破損する恐れのあるものは、受託者が資材を準備し、梱包すること。
書 道	開梱した作品は、再梱包せず、都道府県ごとに作品のみをかご台車等にまとめて保管すること。その際、額への傷防止のために、段ボール等の角当て（四すみ）を1作品おきに取り付けること。梱包材は各都道府県順（作品番号順）に並べた状態でかご台車等に保管すること。
写 真	<p>統一した規格の梱包用段ボール箱と各作品を挿入可能なビニール袋を準備し、作品毎にビニール袋へ入れ、各都道府県毎に段ボール箱1～2個に集約して再梱包すること（図1）。その際、作品が箱の中で動かないよう緩衝材等を適宜同梱するとともに、県が行う梱包材へのラベルシート貼付作業を補助すること（図2）。</p> <p>各都道府県からの送付されてきた梱包材は、元の梱包材で返送するよう指示があった場合を除き廃棄すること。なお、返送指示のあった梱包材は保管しておくこと。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span>図 1</span> <span>図 2</span> </div>

(3) 作品写真撮影補助業務（書道・写真部門を除く。）

ア 業務内容

作品写真撮影時において、県が指定した作品を撮影場所まで一点毎に繰り出し陳列をし、撮影が終了した時点で保管場所へ戻す作業を行うこと。

なお、業務については、県（3名程度）等を補助し、行うものとする。

イ 撮影日時及び撮影作品数

部 門 名	日 時	撮影作品数
美術・工芸	令和8年5月25日（月）午後1時～午後5時（予定） 5月26日（火）午後1時～午後5時（予定） 5月27日（水）午後1時～午後5時（予定） 5月28日（木）午後1時～午後5時（予定） 5月29日（金）午後1時～午後5時（予定） 6月1日（月）午後1時～午後5時（予備）	10点程度 ※1日は予備日

ウ その他

（ア）撮影は、県が行うものとする。

（イ）撮影に係る器材等については、別途県が準備するものとする。

（ウ）撮影日時に変更が生じる場合は事前に連絡するものとする。

(4) 作品複写審査補助業務（写真部門のみ）

ア 業務内容

（ア）下記イの作品運搬日時に、作品を保管場所から下記カの会場へ搬入すること。作品撮影及び審査の終了後、県により梱包された作品を、下記オの作品搬出日時に保管場所へ運搬すること。

（イ）下記ウの作品撮影日時に、作品の複写業務について県の指示により補助を行うこと。

（ウ）複写や審査等に係る会場設営業務について県の指示により補助を行うこと。



(エ) 県から緊急の連絡を受けた場合は、速やかに会場に到着し対応すること。

イ 作品運搬日時

令和8年6月4日(木) 午前10時～(予定)

ウ 作品撮影日時

令和8年6月5日(金) 午前9時～午後5時(予定)

エ 作品審査日時

令和8年6月6日(土) 午前9時～午後4時(予定)

オ 作品搬出日時

令和8年6月6日(土) 午後4時～(予定)

カ 作品撮影・審査会場

秋田市文化創造館2階・3階スタジオ

〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町3-16

TEL: 018-893-5656 FAX: 018-893-5659

キ その他

(ア) 作品複写審査に係る機材の搬送については、県から受託者へ連絡し、打合せを行うものとする。

(イ) 審査会場及び日程等について変更が生じる時は、県から受託者へ連絡し、打合せを行うものとする。

(5) 搬入業務

ア 搬入業務内容

部 門 名	業 務 内 容
美術・工芸	(ア) 保管場所から展示会場までの運搬・開梱をすること。 (イ) 県及び美術館職員等の指示のもと、展示室内の指定箇所に搬入すること。 (ウ) 搬入作品については、保管場所から展示会場への運搬の際、キズ・破損等の危険がある作品は、梱包等で作品を保護すること。ただし、梱包を要しない作品についても、簡易な保護を行うこと。 (エ) 開梱後の梱包材等については、美術館内にすべての梱包材が収まらなかった場合は一部を持ち帰って保管するものとする。
書 道	(ア) 保管場所で作品を開梱し、開梱した状態で作品のみを保管場所から展示会場まで運搬すること。 (イ) 県の指示のもと、展示室内の指定箇所に搬入すること。 (ウ) 搬入作品については、保管場所から展示会場への運搬の際、破損等の危険を避けるため、荷室の底部及び側面に緩衝材(クッション性のある素材)等を使用し、直接作品と作品及び荷室内部が直接触れ合うことがないようにすること。
写 真	(ア) 保管場所から展示会場まで運搬すること。 (イ) 県の指示のもと、展示室内の指定箇所に搬入すること。 (ウ) 搬入作品については、保管場所から展示会場への運搬の際、各都道府県より要望があった場合は、別途梱包等で作品を保護すること。

※ 作品搬入・展示時の運搬車両から展示会場までの動線上の床面、壁面、及び搬出入用エレベーター内部等の養生を、必要に応じて適正に行うこと。

※ 下表「イ 搬入日時及び搬入場所」の搬入日時に、作品を保管場所から各展示会場(県が指示する展示室・指定位置)まで運搬、搬入すること。

※ 開梱については、県の指示あるいは立ち会いのもとで行うこと。

※ 梱包材等については、県が指定する場所に保管すること。

イ 搬入日時及び搬入場所

部 門 名	搬 入 日 時	搬 入 場 所
美術・工芸	令和8年7月23日（木）午前9時30分～午後5時 7月24日（金）午前9時30分～午後5時	秋田県立近代美術館
書 道	令和8年7月24日（金）午前9時30分～午後5時	CNAアリーナ★あきた
写 真	令和8年7月24日（金）午前9時30分～午前5時 7月25日（土）午前9時30分～午前5時	秋田県立美術館 にぎわい交流館AU

(6) 展示業務

ア 業務内容

- (ア) 県を含めて作品展示を行うこと。  
(イ) 各展示業務については以下のとおり。

部 門 名	業 務 内 容
美術・工芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県が示す展示計画書に基づき、展示作業を行うこと。</li> <li>・ 平面作品については、県が示す展示計画書に基づき、美術館職員等の指示のもと壁面及び仮設パネルへの作品展示をすること。なお、仮設パネルへの展示については、フックの取り付け作業等も行うこと。</li> <li>・ 立体作品等の専門知識を要する作品の展示等については、県及び美術館職員等の立会いのもとで行うこと。</li> <li>・ 展示室内のスポットライト等の調整業務は、県及び美術館職員等の指示により行うこと。</li> </ul>
書 道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県が示す展示計画書に基づき、展示作業を行うこと。</li> <li>・ 必要に応じて展示パネルにS字フック等の取り付け作業や展示作品の取り付け作業に当たること。</li> </ul>
写 真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県が示す展示計画書に基づき、美術館職員等の指示のもと展示作業を行うこと。</li> <li>・ 必要に応じて展示パネルにS字フック等の取り付け作業や展示作品の取り付け作業に当たること。</li> </ul>

※各展示業務において、県が準備したキャプションの設置作業を含むものとする。

イ 作業日時及び展示場所

部 門 名	展 示 作 業 日 時	展示場所
美術・工芸	令和8年7月23日（木）午前9時30分～午後5時 令和8年7月24日（金）午前9時30分～午後5時 令和8年7月25日（土）午前9時30分～午後5時 令和8年7月26日（日）午前9時30分～午後5時	秋田県立近代美術館
書 道	令和8年7月24日（金）午前9時30分～午後5時	CNAアリーナ★あきた
写 真	令和8年7月24日（金）午前9時30分～午後5時 令和8年7月25日（土）午前9時30分～午後5時	秋田県立美術館 にぎわい交流館AU

(7) 撤去・搬出業務

ア 業務内容

部 門 名	業 務 内 容
美術・工芸	<p>(ア) 美術館職員等及び県の立ち会い・指示のもと、作品の撤去及び梱包を行うこと。</p> <p>(イ) 展示会場から保管場所へ運搬すること。</p> <p>(ウ) 搬出について、キズ・破損等の恐れがある作品については梱包した上で、各展示会場から保管場所へ運搬すること。</p> <p>(エ) 展示室内のスポットライト等の取外し業務は、県及び美術館職員等の指示により行うこと。</p>

書 道	<p>(ア) 県の立ち会い・指示のもと作品の撤去作業を行うこと。</p> <p>(イ) 作品を展示会場から保管場所へ運搬すること。</p> <p>(ウ) 展示会場から保管場所へ運搬する際は、破損等の危険を避けるため、荷室の底部及び側面に緩衝材（クッション性のある素材）等を使用し、直接作品と作品及び荷室内部が直接触れ合うことがないようにすること。</p> <p>(エ) 展示に使用したキャプションは、作品ごとにその裏面に添付し、搬出すること。その際、取り違え、紛失等には注意すること。</p>
写 真	<p>(ア) 県の立ち会い・指示のもと作品の撤去作業を行うこと。</p> <p>(イ) 作品を展示会場から保管場所へ運搬すること。なお、展示作品のうち、30点（優秀作品）については、保管場所へ運搬せず、展示会場において県へ引き継ぐこと。</p> <p>(ウ) 展示に使用したキャプション及び賞札は、作品ごとにその裏面に添付し、搬出すること。その際、取り違え、紛失等には注意すること。</p>

※ 必要に応じて、作品搬出時の展示会場から運搬車両までの動線上の床面、壁面及び搬出入用エレベーター内部等の養生を適正に行うこと。

※ 可能な限り搬入時と同じ人員が業務にあたるものとする。

#### イ 撤去・搬出日時及び搬出先

部 門 名	搬 出 日 時	搬 出 先
美術・工芸	<p>令和8年8月1日（土）午前9時30分～午後5時</p> <p>令和8年8月2日（日）午前9時30分～午後5時</p> <p>令和8年8月3日（月）午前9時30分～午後5時</p>	受託者管理保管場所
書 道	令和8年7月31日（金）午前9時30分～午後5時	
写 真	令和8年7月31日（金）午前9時30分～午後5時	

### (8) 返送業務

#### ア 業務内容

(ア) 返送作品と返送先リスト（県が作成）との照合を行い、記載の宛先に作品を返送すること。なお、返送料は各作品の返送先（各都道府県文化連盟等）が負担するため、本委託業務の経費として積算しないこと。

(イ) 梱包材料は、原則として作品受取時の梱包材を使用し、送られてきた個口・状態で返送すること。ただし、梱包材が不十分あるいは破損等により作品が破損する恐れのあるものは、受託者が資材を準備し、梱包すること。なお、提供する資材については、契約金額に含むものとする。写真部門は、保管用兼移動用段ボール箱および梱包材を用い返送する。

(ウ) 返送先（各都道府県文化連盟等）が受託者と異なる返送業者を指定した場合は、梱包を施した状態で受託者管理場所において返送先が指定する配送業者に作品を引き渡すこと。また、梱包材を出品作品ごとに小分けする等、返送先の希望があった場合については、県と協議のうえ、適切に対応すること。

#### (エ) 返送期間

令和8年8月31日（月）までに全ての返送業務を完了すること。なお、各都道府県高等学校（芸術）文化連盟又は教育委員会から返送期日の指定を受けた場合は、優先して返送作業を行うこと。

### (9) その他

各種業務については、美術館職員等及び県の人員（美術・工芸は30名程度、書道は20名程度、写真は10名程度）を含めて行うものとする。

## 6 業務要員の手配

各業務に係る業務要員については、業務内容を考慮して、時間内に確実に安全に業務を遂行できる適切な人員を確保し、配置計画を立てるものとする。



## 7 運搬手段

作品の運搬については、作品数及び大きさを考慮して業務日程に支障をきたさない車両を確保すること。  
なお、美術・工芸部門の工芸作品及び立体作品の運搬については、美術作品の運搬に適した装備を有する専用車を確保するものとする。

また、運搬は安全かつ効率的な経路によって行うこと。保管場所が2拠点となった場合、各都道府県から送付される書道部門及び写真部門の作品は、美術・工芸部門の保管場所より別途書道部門及び写真部門の保管場所へ運搬すること。

## 8 保険

作品受付後から返送までの全期間を対象とした展示・輸送一貫保険に加入し、作品一点当たりの補償額を10万円とする。ただし、返送先（各都道府県文化連盟等）が受託者と異なる返送業者を指定した場合の保険期間は、指定業者へ作品を引き渡すまでの期間とする。

## 9 損害賠償責任

委託業務の処理に関し、受託者の過失により第三者に損害を与えた場合には、受託者が損害賠償の責任を負うものとする。

## 10 守秘義務

委託業務の処理に関し、受託者は、業務上知り得た事項について守秘義務を負うものとする。

## 11 その他

- (1) 天災及び感染症その他やむを得ない事情により、大会を中止又は変更をする場合がある。
- (2) 大会が中止又は変更になった場合、県と受託者が協議の上、見積りを精査し、変更契約を締結するものとする。
- (3) その他本仕様書に記載されていないことで疑義が生じたときは、その都度、県と協議の上、決定するものとする。
- (4) 各委託業務を完了したときは、速やかに委託業務報告書を県まで提出すること。  
なお、業務完了報告書の様式については、県が別途指示するものとする。

## 12 問い合わせ

〒010-0951 秋田市山王四丁目1番2号  
秋田県教育庁高校教育課全国高等学校総合文化祭推進室内  
第50回全国高等学校総合文化祭秋田県実行委員会事務局  
担当 風張  
電話 018-860-1434  
E-mail kousoubun2026@pref.akita.lg.jp